

白金や與三右衛門
 蚊爪やつる
 綿津屋忠藏
 野々市や市郎兵衛
 信濃や次郎兵衛
 土屋喜六
 山田や伊六
 島や榮助
 種やきさ
 田井や善五郎
 棚田やとよ
 中屋ひな
 金丸やせん
 釣瓶や庄助
 吾妻や清助
 木屋半兵衛
 茶屋太兵衛

二番町北側

北三番町

森田やきち
 たばこやとよ
 かり野やかね
 ふくやいよ
 津幡や太郎兵衛
 小松やふさ
 梅田や三郎右衛門
 相木や徳兵衛
 中村やさと
 風呂や櫻屋吉三郎
 二又やとよ
 吉村や左吉
 越中やきん
 釣瓶や庄助
 梯や久吉
 越中やたよ
 才田や喜十郎

南三番町北側

同南側

越中や新右衛門
 越中や藤助
 澤田や金五郎
 能登や與吉
 楊弓場
 梯屋榮次郎
 尾山や平兵衛
 綿屋仁三郎
 石助やくめ
 木や金五郎
 梶や八太郎
 能登や次郎兵衛
 此外貸店
 中田やみさ
 能登や彦五郎
 中村やつる

以上八十六軒

此外明屋敷九軒、兩三番町に在之。

右町割および營業人の名前にて、創業の初頃の景況察すべし。

○卯辰菅原神社

此の神社は茶屋町の鎮守社にて、宇多須神社の向う元八幡の見付なる神社是也。故に元八幡舊神職厚見氏世々兼勤す。明治維新後は無格社に列せられたり。此の社は舊藩十二世權中將齊廣卿の時、文政三年三月金澤市中へ令して初て娼妓藝妓表立營業の事を免許せられ、此の茶屋町の地に妓樓を造營して、初て商業をなしけるに依りて、其の頃一社を造建し、藩侯の靈神を祝ひ鎮めて天満宮と稱し、且其の時の執政國老以下諸役人・町奉行等の人々、茶屋町創立の事に關係せしをも其の靈を祀りて、相殿の神靈とすといへり。彼の綿津屋政右衛門が筆記にも、茶屋町遊女御免し